

令和3年7月

## 普及活動報告



開講式の様子



野菜苗など実物を示しながら講義

### ～京都丹波農業を支える新たな担い手を支援～京都丹波就農サポート講座を開催

(6日)

地域農業の中核的農家を目指す新規就農者等の農業基礎技術の修得を目的に、令和3年度京都丹波就農サポート講座を開講しました。

開講式では、南丹広域振興局農林商工部長の激励あいさつの後、受講生からの自己紹介があり、各自が就農に向けて意欲的に取り組んでいる様子がうかがえました。

第1回講座では、普及センター職員が夏野菜、黒大豆・エダマメ及び小豆の栽培基礎について講義し、受講生から農薬の使い方や黒大豆の乾燥方法、小豆での採算性のある経営面積等について実践的な質問が出されました。

普及センターは、今後も実演や実物展示などを交えながら、新規就農者の農業基礎技術の修得を支援していきます。

場 所 園部総合庁舎  
出席者数 25名

令和3年度受講生：18名（亀岡市：6名、南丹市：5名、京丹波町：7名）  
講義回数：全6回（11月8日まで）

京都府南丹農業改良普及センター

令和3年7月

## 普及活動報告



虫数の確認



赤色ネットの実証ほ

### 防除体系の確立に向けて～京かんざしにおけるアザミウマ類の発生状況を調査～

(南丹市・京丹波町：14日)

管内の京かんざし産地では、葉をかすり状に加害し品質を低下させるアザミウマ類の発生が問題となっています。そこで、昨年度に引き続き、アザミウマ類の発生及び被害状況を調査しました。

京かんざしに使用できる登録農薬が少ないため、普及センターでは赤色ネットや太陽熱土壌消毒を組み合わせた防除体系の確立を目指しています。

今年度は、調査研究で赤色ネットの実証ほを設置しており、京かんざしにおけるアザミウマ類の防除効果を確認する予定です。

普及センターは、出荷が終了する翌年2月頃まで継続的に調査していきます。

場所 南丹市日吉町、京丹波町  
和知・瑞穂地区

令和3年度 京かんざし栽培農家数：17戸

京都府南丹農業改良普及センター

令和3年7月

## 普及活動報告

### 斑点米カメムシ類の発生状況を調査 ～南丹市美山町～

(南丹市：16日)



すくい取りにより発生状況を調査

南丹市美山町では酒米「五百万石」が栽培されていますが、近年、斑点米による等級落ちが問題となっています。このため、今年の斑点米カメムシ類のおおよその発生状況を把握するため、出穂を迎えたこの時期に調査を行いました。

調査で大型のカメムシ類が多くみられたことから、これに応じた防除が必要と考えられました。

普及センターでは引き続き、斑点米カメムシ類防除に向けて助言・指導を行います。

場 所 美山町「五百万石」栽培  
ほ場3カ所ほか

令和3年度「五百万石」栽培面積：約22ha

京都府南丹農業改良普及センター

令和3年7月

## 普及活動報告

### 良質な万願寺とうがらしの出荷に向けて目合わせ会を開催～JA京都日吉支店～

(南丹市：26日)



今後の栽培管理について説明

JA京都日吉支店京野菜部会主催の万願寺とうがらし出荷目合わせ会が開催され、普及センターからは病虫害防除や尻腐れ果対策、整枝・剪定、かん水、施肥等今後の管理について説明しました。その後、京都青果から市場情勢などの報告がありました。

目合せでは、出荷物について生産者がそれぞれ等級を判断し、評価がバラついたものを再度確認することで、評価の目が揃いました。普及センターは今後も関係機関と連携しながら、良質な万願寺とうがらし生産に向けて支援していきます。



少人数に分かれて出荷物を確認

場 所 JA京都日吉支店

出席者数 17名

万願寺とうがらし生産者：22名

京都府南丹農業改良普及センター